

「私の聞法」

中学生のころ、「なんで次から次へと心配なことや不安なことが起きるのだろう。一つ解決したら、また次の不安が起きる。こんなことはいやだ。どうしたらいいのだろうか」と考えたことを思い出します。一つのことをじーっと考え、「うまくいったらこれくらい。うまくいかなかったら最低これくらい」と、自分なりに覚悟を決めるということをしていました。お参りする時は必ず「〇〇できますように」、「〇〇しませんように」といったお願いを念頭におくことが多かったと思います。

いつだったか、あるご法話の場で、「願うのは皆さんではなく、阿弥陀様です」と聞いたことがあります。「えっ」とびっくりしました。阿弥陀様は何を願っていらっしゃるんだろうと思ったころから、私のささやかな聞法が始まりました。

今の私は「南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏」とお念仏を称えてお参りします。ほとんどの時は無心でお参りしていますが、その時々心や頭に引っ掛かっていることが強く弱く現れることもあります。また、先生方のお話を聞きながら、我が身に起こっている問題のありように心を移していることもあります。「なるほど、そうか」と感じたり、自分の身勝手さを痛感したりしています。

ご縁があって、岐阜教区の合唱団「サラナン」（真宗大谷派・岐阜教区の合唱団）に参加し、仏教讃歌を練習しています。ここでは歌い方だけでなく、歌詞の内容を解説していただきます。今は宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌のテーマソングとイメージソングを練習しています。曲想のまったく違った4曲ですが、それぞれに深い意味が込められ、歌っていて感動を覚えます。

これからも仏さまのお話を静かに受け止めていきたいと思っています。